

岡山県習字教育研究会 沿革史

令和四年三月現在

岡山県習字教育研究会は、元岡山大学教授 大館 桂堂（允雄）先生の御尽力により、現役の小中学校の先生による書写（習字）教育の振興のための研究組織として設立された。以来、多くの先達の先生方の御努力により着実に発展し、平成十七年二月二十七日には、県習字創立五十周年記念式典が盛大に行われた。同席上、第十二代石田和三会長の発議により、創設功労者 大館 桂堂先生の偉大な御功績を顕彰するため、沿革史の冒頭に「本会創立発起人代表 大館 桂堂（允雄）先生」と記述することが全会一致で決まった。

昭和二十九年	八月二日	本会創立発起人代表 大館 桂堂（允雄）先生を中心に創設 結成総会開催（於岡山大学附属中学校） 「岡山県習字教育研究会」創立の日となる。
	八月二日	初代会長 坂元 彦太郎氏（岡山大学教育学部長）就任
	二十九年十一月	第一回県下硬筆コンクールを開催 四千点余応募 習教半紙を選定
	三〇年 一月	『冬休みの友』による毛筆コンクールを開催（第一回書きぞめ め展覧会）
	三二年 五月	第二代会長 尾原 澁氏 就任
	一〇月	第一回県下習字教育研究大会を開催（於岡山市石井小）
	十一月	県下の書写状況実態調査を実施
	三二年十二月	書きぞめ展用長半紙を選定（デザイン、深柢小兒子美義氏）
	三二年十一月	第二回県下習字教育研究大会開催（浅口郡金光小）
	三三年十二月	第三回県下習字教育研究大会開催（岡山市内山下小・丸之内中） 全書研に加入
	三四年 七月	『ペン習字』『月・雪・花』発刊（土田・大館氏）
	一二月	第四回県下習字教育研究大会開催（高梁市高梁小）
	三五年十二月	第五回県下習字教育研究大会開催（岡山市弘西小・旭中）
	三六年 三月	第六回県下習字教育研究大会開催（岡山市三門小）
	三七年 二月	『書写の手引き』中学校用を発刊
	五月	第三代会長 西崎 隆之助氏 就任
	一〇月	秋季展を産業会館にて開催（秋季展第一回となる）
	三八年 二月	書きぞめ展を県文化センターで開催（これまで美術クラブ ・産業会館・天満屋階段等を利用）
	三九年十一月	特別用紙にてオリンピック記念展開催（出品数四万五千点）
	四〇年 二月	県下研究団体の統合により「岡山県小・中学校教育研究会 国語部会書写分科会」と名称に入れる。
	四〇年 五月	第四代会長 三島 一夫氏 就任

四一年 二月
 四三年 七月
 一二月
 四四年 一月
 四四年 五月
 四五年 八月
 四六年 七月
 七月
 七月
 四七年 七月
 四九年 二月
 八月
 一〇月
 五〇年 二月

書きぞめ展 出品点数五万点を突破する。
 明治百年記念展を開催（出品点数五万六千点）
 『書写の手引き』の改訂にかかる。（大館・神崎・秋山・久世の各氏）

創立十五周年記念式典挙行（功労表彰者 大館 允雄氏）
 第五代会長 神崎 良則氏 就任
 教師対象第一回書写講習会を開催（岡山・高梁）
 教師対象第二回書写講習会を開催（津山）
 支部単位書写講習会（五会場）開催
 中学校書写教育実態調査を実施
 「書き方フェルトペン」推薦

文部省主催第一回毛筆実技講習会へ協力
 小学校書写教育実態調査を実施
 書きぞめ展出品数十一万六千点
 研究組織の確立と推進 本年度研究テーマ「効果的指導過程の展開を目指して」
 書写講習会に替わり、書写教育研究大会を再開（倉敷市西小）
 創立二十周年記念式典挙行

（功労表彰者 加藤喜大、亀井真佐子、久世 隆、沼本鉄太郎、石田和三の各氏）

『集芳』二十周年記念号発行（三十ページ）
 県書研大会（岡山市可知小）
 神崎良則会長 文部大臣表彰
 第六代会長 小橋静男氏 就任
 『書き方ノート』県習教版作成
 第七十三回書きぞめ展出品数十二万六千点を越す時、特別賞（研究会賞）を九点増加、四事務所を考慮
 『書き方ノート』改訂に伴うアンケート調査実施・検討会を持つ。（十五万部発行）

県書研大会（津山市北小）
 県書研大会（新見市思誠小）
 第七代会長 曾我 靖氏 就任
 国際児童年にあたり、ユニセフ、岡山ライオンズ賞を設ける。（書きぞめ展）

県書研大会（岡山市深砥小）
 『集芳』創立二十五周年記念号発行（十四ページ）
 創立二十五周年記念式典挙行
 （功労表彰者 宮本一雄、井上寿栄子、小林猪佐雄、疋田幸子、今井金子、石賀弘美、林幸子、皿井真郷、福田イクノ、光旗良隆、中山禎子、浅田京子、丸橋正恵、佐藤二郎、

六三年	八月	第百七回夏季展(三万四千点)
	一二月	県書研大会津山管内二年次 研究発表会開催(湯郷文化センター)
		・研究発表
		・全体会
		・指導助言者 富田 富貴雄先生(岡山大学教授)
		・講演 「書写教育の本道はいかにあるべきか」
		講師 中島 皓象先生(花園大学教授)
平成元年	二月	第百九回書きぞめ展(十五万七千点)
	四月	年三回実施していた展覧会を二回に精選。硬筆展と書きぞめ展の二本立てにする。
	七月	第百十回硬筆展審査会を夏季休業中の平日に実施。 (五万一千点)
		県書研大会高梁管内一年次 講演会開催
		・講演 「書写教育の諸問題」
		講師 富田 富貴雄先生(岡山大学教授)
		創立三十五周年記念式典挙行(桃花苑)
		(功労表彰者 井原 守、三宅逸雄、文谷民江、清水伸枝、高橋三穂の各氏)
	二月	第百十一回書きぞめ展(十六万二千三百点)
	五月	第十二代会長 石田 和三氏 就任
	八月	第百十二回硬筆展(六万一千点)
	十一月	県書研大会高梁管内二年次 研究発表会開催(新見市明新小)
三年	二月	第百十三回書きぞめ展(十五万三千五百点)
	五月	第十三代会長 有友 義人氏 就任
	八月	第百十四回硬筆展(五万三千点)
		全中国語研岡山大会開催
三年一〇月		第百十五回書きぞめ展(十五万三千七百点)
四年	二月	第百十六回硬筆展(五万九千点)
	八月	県書研大会岡山管内二年次 研究発表会開催(岡山市野谷小)
	十一月	・授業公開
		・研究発表
		・講演 「硬・毛筆の関連を図った学習指導法」
		講師 町川 治先生(香川県書写部会長)
五年	二月	第百十七回書きぞめ展(十四万八千七百点)
	八月	第百十八回硬筆展(五万三千点)
六年	二月	第百十九回書きぞめ展(十四万八千点)
	八月	第百二十回硬筆展(六万点)
	十一月	県書研大会倉敷管内二年次 研究発表会開催(倉敷市緑丘小)
		・授業公開
		・研究発表
		・講演 「鍊筆と鍊心」
		講師 野津 蒼雲先生(前島根大学教授)

七年	一月	創立四十周年記念事業『集芳』復刻版刊行 『集芳』創立四十周年記念号発行
	二月	創立四十年記念式典挙行(桃花苑)
	二月	創立四十年記念式典挙行(桃花苑)
七年	五月	(功労者表彰 岡村三平、國西博美、山田 清、 矢延文夫、岸本高樹の各氏)
	八月	第十四代会長 森谷 浩平氏 就任
	八月	第二十二回硬筆展(五万四千六百点)
	十一月	第二十六回博報賞受賞
八年	二月	第二百二十三回書きぞめ展(十四万五千百点)
	五月	第十五代会長 井原 守氏 就任
	八月	第二百二十四回硬筆展(六万七百点)
	十一月	県書研大会津山管内二年次 研究発表会開催 (奈義町文化センター)
		・研究発表 ・全体会
		・講演 「わたしの歩んできた道」
		講師 甲本 弘道先生(県立至道高校講師)
九年	二月	第二百二十五回書き初め展(十三万五千六百点)
	五月	第十六代会長 大澤 達海氏 就任
	八月	『書写指導資料―これからの書写指導のあり方―』を 県下各小中学校へ各一冊配布
	八月	第二百二十六回硬筆展(五万五千九百点)
一〇年	二月	第二百二十七回書き初め展(十三万四千点)
	五月	第十七代会長 成石 壽之氏 就任
	八月	第二百二十八回硬筆展(六万七千四百点)
	一〇月	県書研大会高梁管内二年次 研究発表会開催(高梁市宇治小)
		・全学年公開授業 ・全体会
		・研究発表
		・講演 「書写教材の基礎・基本のとらえ方 (小学校教材の系統性)」
		講師 富田 富貴雄先生(岡山大学教授)
一一年	二月	第二百二十九回書き初め展(十二万五千九百点)
	五月	第十八代会長 國西 博美氏 就任
	八月	第二百三十回硬筆展(六万二千三百点)
	十一月	創立四十五周年記念式典挙行(桃花苑)
		(功労者表彰 柴原靖彦、室山信子、新庄節子、宮本毛登明、 落合和美、岡本宏子、小笠原三千子、戸田廣子、 桐戸雅子、吉田真弓の各氏)
	二月	第三百三十一回書き初め展(十二万五千五百点)
	三月	『集芳』四十五周年記念号発行

一二年	五月	第十九代会長 角 洋亮氏 就任
	八月	第三百三十二回硬筆展(六万四千二百五十四点)
	一〇月	県書研大会岡山管内二年次 研究発表会開催(和気郡本庄小)
		・公開授業
		・全体会
		・研究発表
一三年	二月	・講演 「国際化時代の国語教育談義」
	五月	講師 成石 壽之先生(岡山市教育委員会)
		第三百三十三回書き初め展(十一万八千二百九十一點)
		第二十代会長 山田 清氏 就任
一三年	八月	第三百三十四回硬筆展(五万六千六十九点)
一四年	二月	第三百三十五回書き初め展(十一万九千五十二点)
	八月	第三百三十六回硬筆展(五万九千九十一點)
	一〇月	県習教ホームページ開設
	十一月	県書研大会倉敷管内二年次 研究発表会開催(倉敷市玉島小)
		・公開授業
		・全体会
		・研究発表
		・講演 「人間良寛と愛護」
		講師 満谷 士郎先生(医学博士・良寛研究者)
一五年	二月	第三百三十七回書き初め展(十一万四千十四点)
	八月	第三百三十八回硬筆展(五万八千八百七十九点)
		『集芳』百号記念号発行
一六年	二月	第三百三十九回書き初め展(十一万七千二百十點)
	八月	第四百四十回硬筆展(六万三千五百五十二点)
	十一月	県書研大会津山管内二年次 研究発表会開催(久米郡喬橋小)
		・授業公開
		・全体会
		・研究発表
		・講演 「新しい書写の現状と課題」
		講師 井原 守先生(朝日塾小学校長)
一七年	二月	第四百四十一回書き初め展(十一万四千四十三点)
	二月	創立五十周年記念式典挙行(岡山プラザホテル)
	二月	『集芳』五十周年記念号発行
		(功労者表彰 横溝泰子、港高明、寺坂昌三、河本昭子、黒澤直子、岡本純子、吉田健、片山敬子、吉田美和子、平木雅人、永瀬通子、岡律子、井原和伸、井上美貴枝、房延悦子、田尾和彦、大野晶子、藤井紀美江の各氏)
	七月	山田 清会長ご逝去(県習教・山田家合同葬を行う)
	七月	第二十一代会長 高橋 三穂氏 就任
	八月	第四百四十二回硬筆展(五万九千七百九点)
一八年	二月	第四百四十三回書き初め展(十一万八千三百十一點)
	八月	第四百四十四回硬筆展(六万六千七百五十三点) 灘崎町町民会館
	八月	第一回書写講演会
		演題 「書写の文化史―書写教育の基盤として―」
		講師 文学博士 福田 哲之教授(島根大学)

一九年	二月	第百四十五回書き初め展（十一万九千九百八点）
	八月	第百四十六回硬筆展（六万七千八百四十三点）
	八月	第二回書写講演会
		演題 「楽しい書写指導のポイント」
		講師 富田 富貴雄先生（岡山大学名誉教授）
二〇年	二月	第百四十七回書き初め展（十二万六千五百五十八点）
	四月	創設の恩人、大館桂堂先生四月二十九日、教え九十八歳にてご逝去。先生は明治四十四年亥の年生まれ、本会の設立発展に大きな足跡を残された。書写書道教育に文字通り猪突猛進された一生だった。
	八月	第百四十八回硬筆展（六万九千八百九十一點）
	八月	第三回書写講演会
		演題 「書写書道教育に邁進した生涯（大館桂堂先生を語る）」
		講師 富田 富貴雄先生（岡山大学名誉教授）
		大館 貞宏先生（桂堂先生御令息・墨潮会副会長）
		県書研大会岡山管内三年次 研究発表会開催（岡山市箕島小）
		・授業公開 ・全体会 ・研究発表
		・講演 「伝統的な言語文化と書写教育」
		講師 文学博士 福田 哲之教授（島根大学）
二二年	二月	第百四十九回書き初め展（十二万二千九百八点）
	七月	創立五十五周年記念式典挙行（ピュアリティまきび）
	七月	『集芳』五十五周年記念号発行
	七月	（功労者表彰 宮本由美子、河合久子、萱信子、小原和久、小林浩昭、桑田里香、小野佳美、近藤昌子、川崎雅浩の各氏）
	八月	第百五十回記念硬筆展（六万七千二百四十点）
	八月	第四回書写力アップ講演会（ピュアリティまきび）
		演題 「国語、書写教育の望ましい姿と山田方谷の世界」
		講師 岡山理科大学附属高等学校入試広報部長
		全国漢文教育学会評議員・岡山県漢詩連盟理事
		山田 敦先生（方谷先生御子孫）
二二年	二月	第百五十一回書き初め展（十二万四千六百一点）
	八月	第百五十二回硬筆展（六万七千五百五十三点）
	一〇月	第四回書写力アップ講演会（国民文化祭協賛事業・岡山県郷土文化財団・木堂記念館主催・県習教・岡山県高等学校教育研究会書道部会後援 於木堂塾）
		演題 「大養木堂と内藤湖南・長尾雨月・羅雪堂との墨縁」
		講師 杉村 邦彦先生（京都教育大学名誉教授・書論研究会会長）

二三年 二月
三月末〜四月初

五月
八月
十一月

第一百五十三回書き初め展（十二万八千九百九十六点）
大館桂堂先生遺墨展開催 於天神山文化プラザ 墨潮会他主催
第二十二代会長 柴原 靖彦氏 就任
第一百五十四回硬筆展（六万一千八百二十点）

県書研大会倉敷管内三年次 研究発表会開催（井原市立高屋小）

- ・授業公開
- ・全体会
- ・研究発表

― 静から動への転換をめざして―

講師 宮澤 正明先生（山梨大学教育人間科学部教授）

二四年 二月

八月

第一百五十五回書き初め展（十二万八千九百九十六点）

第一百五十六回硬筆展（六万一千七百九十二点）

二五年 二月

八月

第一百五十七回書き初め展（十一万七千三百二点）

第一百五十八回硬筆展（五万八千八百六十一）

二六年 二月

八月

第一百五十九回書き初め展（十一万八千九百九十九点）

第六十回記念硬筆展（六万一千七百六十二点）

八月

創立六十周年記念式典挙行（ピュアリティまきび）

（功労者表彰 木村肇、久保勝彦、吉田敦子、井上武士、森和雄、

平口寿美、石本康一郎、桐野起代美、嶋田晃、植田由実子、

渡辺智子、小林安子、恒次宏晃、中山富美子、池田真理子

の各氏）

十一月

県書研大会津山管内三年次 研究発表会開催（真庭市立米来小）

- ・授業公開
- ・全体会
- ・研究発表

・講演 「基礎・基本をふまえて、

生き生きと学ぶ子どもの育成」

― 自己の伸びを実感でき、生活に生かす書写教育―

講師 宮澤 正明先生（山梨大学大学院教育研究科教授）

二七年 二月

五月

第六十一回書き初め展（十一万五千百十五点）

第二十三代会長 宮本 由美子氏 就任

二八年 八月

第六十二回硬筆展（五万九千三百九十九点）

二月

第六十三回書き初め展（十一万六千六百八十三点）

五月

第二十四代会長 久保 勝彦氏 就任

二九年 八月

第六十四回硬筆展（六万六千八百八十八点）

二月

第六十五回書き初め展（十一万三千九百八十一）

八月

第六十六回硬筆展（五万九千三百四）

三〇年 二月

第六十七回書き初め展（十一万五千三百九十五点）

八月

第六十八回硬筆展（五万九千三百四）

十一月

県書研大会岡山管内三年次 研究発表会開催（赤磐市立山陽東小）

- ・授業公開
- ・全体会
- ・研究発表

・講演 「書写教育で学力向上 教育活動の基盤となる書写」

講師 寺坂 昌三先生（元県習教常任理事、元小学校長、

日展会友、県書道連盟副会長）

三一年	二月	第百六十九回書き初め展（十一万八千九百九十九点）
令和元年	五月	第二十五代会長 小林 浩昭氏 就任
	八月	第百七十回硬筆展（五万六千九百五十四点）
	八月	創立六十五周年記念式典挙行（ピュアリティまきび） 『集芳』六十五周年記念号発行
		（功労者表彰 谷本剛、羽原陽子、小野祐三子、中谷小也香、 永守志帆、西尾武範、中川弥子、河津裕子、 中島恵実の各氏）
二年	二月	第百七十一回書き初め展（十一万二千六百八点） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、表彰式は中止。
	八月	第百七十二回硬筆展（四万四千九百二十六点） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本部審査会、展覧会、表彰式は中止。
三年	二月	第百七十三回書き初め展（十万九千八百八十五点） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、展覧会、表彰式は中止。
	八月	第百七十四回硬筆展（五万七千五百五十点） 県書研大会倉敷管内三年次 研究発表会開催（倉敷市立連島神亀小） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、誌上発表に開催方法を変更。
四年	二月	第百七十五回書き初め展（十万九千八百八十五点） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本部審査会、展覧会、表彰式は中止。
	六月	第二十六代会長 恒次 宏晃氏 就任
	七月	第百七十六回硬筆展（五万三千二百七点）
	八月	第五回書写力アップ講演会（ピュアリティまきび） 研究発表
		実践発表 ・倉敷管内 倉敷市立連島神亀小学校 仁紫 太喜 先生 ・津山管内 美作市立東粟倉小学校 池淵 育子 先生 ・岡山管内 岡山市立福南中学校 平田 浩基 先生 席上揮毫・危難対談 講師 書家 中塚 翠涛 先生（対談者、顧問 永瀬通子）
五年	二月	第百七十七回書き初め展（十万七千七百九十三点）
